

今、君津市に住んでくれている人が幸せになる事。
すべてはそこから。

同居

世代の同居・近居支援事業を提案します！

習志野市では「二世帯近居」に助成する事業を始めました。

若い世代の定住促進、人口構造のバランス維持、子育て・介護等で家族が協力し合える環境作りを目的に取り組む制度であり、県内では千葉市の「三世帯同居等支援事業」をはじめ、袖ヶ浦市、芝山町などが

類似の助成事業を始めています。

これにより若者の流出を防ぎ、生産年齢人口の増加・過疎化の抑制、高齢者の孤立の防止などが見込まれます。

参考までに千葉市の場合、以下のような費用を助成しています。

「親と子と孫」三世帯の家族が同居または近居(1km)以内に居住すること。を主な条件に、

1年目…新築・改築、賃貸契約、転居等にかかる費用

2・3年目…固定資産税・都市計画税、1年間の家賃等にかかる費用

※新築などの施工や賃貸・転居なども、市内業者で行った場合には限度額の上限を上げるなどして、「君津市内でお金が回る仕組み」を作る事が重要だと思います。市内業者の景気が良くなれば、法人市民税などの税収が増えます！

備え

防災士を増やそう。

首都圏南部で直下型地震(M7クラス)が30年以内に起こる確率は70%と言われています。

その時、学校・職場等で待つのか、動くのか、どこへの経路で避難するのか？一口に災害といっても、その種類、発生時間等により避難方法は大きく変わります。

東日本大震災の日、大川小学校では校庭で50分待っていたために多くの犠牲者が出ました。適切な判断ができる人がいれば…。

そんな想いから私は「防災士」の資格を取りました。

講義の中で学んだ「図上演習」は多くの教育現場で取り入れていくべきだと思いました。

公立学校や公民館等、避難所となる公共施設にも防災士を配置できるよう、資格取得に対しての助成制度が必要だと思います。

愛媛県松山市では、自主防災組織に必ず一名防災士を配置する取り組みをしています。

介護

介護職の若者を呼び込もう。

鴨川市は医療関係に従事する若者が増えたことで安房地区では唯一消滅可能性都市から外れています。

今後も65歳以上の人口が増えていく中で、医療・介護・福祉の雇用が増えていく事が予想されます。雇用が生まれる事は良い事ですが、さらなる人手不足が心配されます。

人手不足の看護職では、看護師の育成のために公金を使い奨学金制度が設けられています。

このような制度が介護業界でもできないでしょうか？

介護も看護同様に地域に欠かせない事業となりました。

看護師と介護職では社会的なステータスが違うという意見もありますが、欠かせない事業でありながら人手不足という点は共通です。

介護職を志す若者を全国から呼び込めるのではないのでしょうか。市民全体にとってプラスになると思います。

報告会

議会報告会やります！

どなたでもお気軽にご参加ください！

7月17日(金)
午後6時30分～

生涯学習交流センター
(君津市役所のとなり) 議会改革と防災。

7月18日(土)
午前10時00分～

清和公民館 学校再編と
清和観光交流センター



すなが和良公式サイト
<http://sunaga-kazuyoshi.com/>
過去の活動報告も読めます。
動画も配信中！



すなが和良アルパカ日記 **引越しました**
<http://blog.sunaga-kazuyoshi.com/>
議員で実はこんな事してるんだあー、と
感じてください。

1977年1月2日生(38歳)／防災士／東海大学卒
県民政治大学修了／政治スクール「千志塾」第3期生
(1期生には熊谷千葉市長もいます)



議員力検定
合格

すなが和良

検索

きれいな政治を次の世代へ。

君津市市議会議員 **すなが和良 活動報告**

無所属・市民改革派

